中小企業景況調査報告書

令和6年4月～9月期

本調査は、瀬戸内町・宇検村の産業状況等地域の経済動向について、半期毎に実施しているものです。

1. 調査対象期間 令和 6 年 4 月 ～ 9 月
2. 調査方法 商工会職員による訪問及び面接調査
3. 調査対象地域 宇検村・瀬戸内町
4. 回答企業 30 企業
5. 調査項目 今期（R6.4月～9月）と前期（R5.10～R6.3月）・前年同期（R5.4月～9月）を比較した際の業況・売上高・客単価・仕入単価・資金繰りを調査。また、来期の見通しについても同項目にて調査を実施。以下、回答数の最も多い回答を掲載。

【総括】

業況については多くの業種において、ふつうとの回答が多数を占めた。飲食宿泊業については売上高、業況判断などにおいて悪化していると感じている企業が多くあった。仕入単価の上昇や人件費の上昇は全業種において課題として認識されており、上昇分の価格転嫁を十分に実施できるかにより業況判断に差が生じている。

産業別業況

	今期業況	前年(R5.4～R5.9)と比較	前期(R5.10～R6.3)と比較
建設業	ふつう	不変	不変・悪化
製造業	ふつう	不変	不変
卸小売業	ふつう	同数	不変
飲食宿泊業	悪い	悪化	悪化
その他サービス業	ふつう・悪い	不変	不変

<回答分析>

建設業、製造業、卸小売業では特に大きな変化はないとの回答が多かった。
飲食宿泊業では業況の悪化を感じられる事業所が目立ち、前年、前期と比較し悪化している回答が多かった。

①前年同期(R5.4～R4.9)との比較

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	不変	不変	上昇	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変
製造業	増加	増加・不変	上昇	不変
卸小売業	不変	不変	不変	不変
飲食宿泊業	減少	不変	上昇	悪化
その他サービス業	不変	不変	不変	不変

<回答分析>

売上高では、不変と回答した事業所が47%で最も多かった。客単価でも不変が67%と多くなったが、製造業においては増加も同程度の回答数であった。仕入単価は上昇との回答が最も多く53%を占め、資金繰りは不変の回答が多くあったが、飲食宿泊業においては悪化の回答が多くあった。卸小売業では業況に差が大きく生じているが、仕入単価については他業種と同様に上昇傾向がみられ

②前期(R5.10～R6.3)との比較

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	不変	不変	不変	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変・悪化
製造業	不変	不変	不変	不変
卸小売業	不変	不変	不変	不変
飲食宿泊業	減少	不変	不変	不変・悪化
その他サービス業	不変	不変	不変	不変

<回答分析>

売上高は全体では不変が57%と多くなったが、業種によっては減少が多数を占める業種もあり業況が分かれた。仕入単価も不変の回答多く（77%）あったが、減少の回答はなく増加もしくは同程度の単価となっている。物価高騰等による影響は飲食宿泊業にでており、業況や資金繰りの悪化の回答が多く目立った。

③来期(R6.10～R7.3)の見通し(前年同期(R5.10.～R6.3)と比較)

	売上高	客単価	仕入単価	資金繰り
全体	不変	不変	不変	不変
建設業	不変	不変	上昇	不変
製造業	増加	不変	不変	不変
卸小売業	不変	不変	不変	不変
飲食宿泊業	不変	不変	不変	不変
その他サービス業	不変	不変	不変	不変

<回答分析>

多くの業種で来期については、前年同期と同様になると見通されている。製造業においては売上高増加の見通しを立てている回答も多くあった。仕入単価の上昇の回答もあり、それに伴った業況の悪化と回答する企業もあったが、全業種において同様の見通しを立てる企業が多い結果となった。

発行：瀬戸内町商工会
宇検村商工会